

## 県立夜間中学のめざす姿の実現に向けた学校設置の枠組みについて（案）

### 芽生える（案）

#### 1 学びの機会の確保

さまざまな理由により、義務教育を十分に受けられなかった方の「学びたい」という願いや思いを大切に、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすため、生徒を柔軟に受入れて、義務教育の内容を学ぶ機会を提供します。

##### 【入学対象者】

三重県内に在住・在勤の学齢期（満15歳に達した日以降の最初の3月31日まで）を過ぎた人で、以下のいずれかの要件を満たす者を入学対象とする。

- さまざまな理由により義務教育を修了していない人
- 不登校などの理由により義務教育を十分に受けられなかった人
- 本国やわが国で義務教育を修了していない外国籍の人
- その他学校長が入学を認めた人

（学齢期の生徒を受け入れる「学びの多様化学校」については、今後、文部科学省へ申請する。）

##### 【学校規模】

1学年1学級10人程度を想定する。

##### 【修業年限】

通常の中学校と同様に3年間で中学校の教育課程を修了することとするが、個々の状況に応じて、最長9年を目安として在籍を可能とする。

##### 【入学時期・編入学対応】

4月入学を基本としつつ、年度途中の入学希望者に対しても、個々の状況に応じて入学を認めることとする。また、適切な学びの期間を設定するため、中途学年の2年、3年からの編入学も可能とする。開校時においても、入学希望者の学習状況を確認し、すべての学年への入学を可能とする。

#### 2 不登校等さまざまな事情をもつ人の学びの場づくり

誰一人取り残さない教育の実現のため、学齢期の生徒について、「学びの多様化学校」の申請や、在籍校に籍を残したままの通学を可能とするといった受け入れ方策について検討します。また、義務教育を十分に受けられないまま、高等学校や専修学校等に入学した方についても、在籍校に籍を残したまま、夜間中学の学びの場に参加できるよう検討します。

### 3 誰もが通いやすい学習環境の実現

生徒が、それぞれの事情に合わせて、学ぶ時間を選択することができるよう、昼間部と夜間部を設置します。また、通学が困難な生徒のため、分校又は分教室の設置を検討します。

【時間割（イメージ例）】月～金 週5日

校時		授業時間	備考
1校時（昼①）	16:10～16:50	40分	5校時と同一教科
2校時（昼②）	16:55～17:35	40分	6校時と同一教科
HR	17:35～17:45		
3校時（昼③）（夜①）	17:45～18:25	40分	実技教科等
4校時（昼④）（夜②）	18:30～19:10	40分	実技教科等
給食	19:10～19:30		
5校時（夜③）	19:30～20:10	40分	1校時と同一教科
6校時（夜④）	20:15～20:55	40分	2校時と同一教科

### 4 ICTの活用

1人1台デジタル端末等の情報通信技術（ICT）を日常的に活用することにより、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を組み合わせ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。また、端末を自宅に持ち帰ることができるようにする等の環境を整備し、生徒がいつでもどこでも学ぶことができるようにします。

### 5 日本語教育の充実と日本文化への理解促進

国籍や母語に関わらず、誰もが意欲的に学ぶことができるよう、初期日本語指導の実施等、日本語教育を充実させるとともに、日本文化への理解が促進する授業を行います。また、適宜通訳等に活用できるような支援体制づくりに取り組みます。

### 6 身体的・経済的不安への対応

学びのセーフティネットの役割が求められていることから、身体的事情により就学を断念することがないように、バリアフリー、ユニバーサルデザインを意識した施設・設備を整備します。また、健康面に配慮して、県立みえ夢学園高等学校と連携して、希望する方への給食の提供を実施します。さらに、経済的事情により就学を断念することがないように、生徒負担の軽減に努め、各市町と連携しながら就学支援体制づくりに取り組みます。

## **7 教育相談体制の充実**

学習や生活上の悩み、将来に向けての不安等さまざまな悩みの相談を受け、生徒の気持ちに寄り添うことができるよう、生徒と教職員の共感的な人間関係を構築するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配備・支援、関係機関と連携しながらのきめ細かな教育相談に対応する体制づくりを推進します。

## 伸びる（案）

1 一人ひとりのニーズに応じたコースの設定

2 実生活に役立つ魅力ある授業づくり

3 キャリア教育の充実

4 行事や体験活動等の充実

5 健康教育の推進

## 広がる（案）

1 人とのつながり

2 地域・社会とのつながり

3 新たな学びとのつながり

## その他（案）

1 関係機関等との連携

2 継続的な改善への取組

3 職場環境の整備

4 研修体制の整備

5 県民への広報・周知